

今週の相場はどうなる？

今週の相場はどうなる？

作成者：山根亜希子

○8月23日～

世界的にコロナの感染が急増してきました。オセアニアでは、再度のロックダウンとなり、ワクチンへの期待から今年後半は経済が回復するというシナリオに陰りが見えてきそうです。ただし、金融緩和縮小（テーパリング）が先延ばしになれば株価には再び追い風が吹いてくるので、相場予測は状況をよく見ておく必要があります。

今週はジャクソンホールでのパウエルFRB議長の講演にも注目が集まっています。

<ドル/円>

ドルは109円を維持できれば再度上値トライの動きが期待できそうです。

下値は108.7円を割り込むと円高リスクがでてきそうです。

しばらくは、109-111円程度のレンジ中心の動きが続く可能性もあります。

<気になるクロス円>

クロス円もそろそろ下げ止まらないとテクニカル的には次のサポートまで一気に落ちてしまうリスクがあります。豪ドル、ユーロなどは週足で見て下落トレンドが鮮明になってきているので、スイングトレードでは戻り売り戦略も検討したいです。

*クロス円とは円との通貨ペアの総称：〇〇/円というような通貨ペアのことです。

<ファンダメンタル？>

日本では8月東京都区部消費者物価指数などがあります。

米国では8月製造業・サービス部門・総合PMI（速報値）、7月中古住宅販売件数、7月新築住宅販売件数、8月リッチモンド連銀製造業指数、7月耐久財受注、4-6月期GDP（改定値）、前週分新規失業保険申請件数、7月個人消費支出、8月ミシガン大学消費者態度指数（確報値）、パウエルFRB議長講演（ジャクソンホール）などがあります。

欧州ではドイツとユーロ圏で8月製造業・サービス業PMI（速報値）、ユーロ圏で欧州中央銀行（ECB）理事会議事要旨、ドイツで4-6月期GDP（改定値）、8月IFO景況感指数などの発表があります。

ほかにはオーストラリアで7月鉱工業生産の発表などがあります。